

普及活動情勢報告（令和4年10月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

生産技術の確立に向けて！

・・・ハイブリッドスターチス現地検討会・・・



9月27日、黒潮町田野浦地区で、JA 大方支所花き園芸部会がハイブリッドスターチスの現地検討会を開催し、生産者6名、関係機関3名が参加しました。

各生産者のほ場の生育・開花状況を確認した後、ほ場毎の地温や土壌水分等の環境データを農業改良普及課から報告し、今後のかん水管理やマルチの選択等についての意見交換を行いました。生産者からは「こかげマルチに変更してからpF値が安定し、かん水しやすくなった」等の声がありました。

今後は、定期的にはほ場を巡回し、安定生産技術の確立に向けて取り組んでいきます。

地域平均反収の確保に向けて！・・・普通期飼料用米品種‘たちはるか’現地検討会・・・



10月4日、宿毛市橋上町で‘たちはるか’の現地検討会を開催し、JA 宿毛支所水稻担い手部会生産者4名、関係機関5名が参加しました。

普通期飼料用米として有望な‘たちはるか’について、施肥量や栽植密度の実証に取り組んでおり、農業改良普及課から‘たちはるか’の実証試験概要、生育調査の結果等の説明を行いました。生産者からは「稲刈りのタイミングはいつ？」、「窒素肥料8kgではどうなる？」等の質問がありました。

今後は、収量調査の結果を報告し、幡多地域に合った品種選択が行えるよう支援していきます。

剪定で良い花を咲かそう！

・・・大月ふれあい市出荷者ビワ剪定講習会・・・



9月15日、大月町清王で、大月ふれあい市に出荷している生産者を対象としたビワの剪定講習会を開催し、生産者9名が参加しました。

農業改良普及課は、ビワの剪定時期、剪定方法、仕立て方、結果枝の種類と特性を説明し、花芽のある中心枝を残すように実演を行いました。

生産者からは、「切り返し剪定と間引き剪定の使い分けは？」、「良い花芽の結果枝見分け方は？」などの質問と併せて、落葉果樹の剪定講習会の開催要望がありました。

今後は、要請に応じて講習会や個別巡回指導を行い、支援していきます。

実りの秋を満喫！

・・・四万十市立具同小学校 総合学習・・・



10月5日、四万十市入田で、具同小学校5年生62名が6月に田植えした‘ヒノヒカリ’の稲刈りを行いました。

当日は、集落営農法人「(農)入田村」がコンバインで稲刈り実演を行い、農業改良普及課から手刈の方法を説明した後、各自が鎌を持ち、苦戦しながらも楽しそうに稲刈りを行いました。

児童からは、「もっと刈りたかった」、「一回で刈るのは難しい」等の感想がありました。

今後も小学校の総合学習に関わり、食農教育の支援を行っていきます。

「黒潮町産ポップコーン」いざ東京へ出陣！・・・「しおかぜ工房」6次産業化への挑戦・・・



黒潮町にある「しおかぜ工房」は平成29年度から県が主催する6次産業化セミナーを受講し、黒糖ミルクジャムなどの商品開発を進めてきました。

農業改良普及課は、アドバイザーの指導のもと、商品開発から原価計算、ラベルデザインなどの販売準備まで幅広い支援を行い、今年10月からは、(有)良品工房ニッコリーナ(エキュート東京店)で「ポップコーン(黒糖キャラメル、塩バターの2種)」の販売が始まりました。

グループ員は高知県や東京都以外での販売の夢を描いており、農業改良普及課は、夢の実現に向けて支援していきます。

若い力で産地を盛り上げよう！

・・・第2回黒潮町キュウリ若手勉強会・・・



9月30日、黒潮町のJA高知県大方支所構造改善センターで、第2回キュウリ若手勉強会を開催し、生産者11名、関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課から、作業管理ローテーションの提案や、今年度を実施する実証ほ、生育初期における栽培管理、IoTデータを活用した栽培などの説明を行いました。生産者は、他農家との作業ローテーションの違いや実証ほの内容などに興味を示していました。

今後も定期的に勉強会等を開催し、産地の担い手となる生産者への支援を行っていきます。